

ふくしま共創のまちづくり計画

松川地区

作成：松川地区まちづくり計画策定懇談会
事務局：松川支所内
電話：(024) 567-2111

地域ビジョン

- (1) 歴史や文化、豊かな自然と農業が調和した潤いのあるまち
- (2) 安定した雇用と安全・安心な生活環境の整備されたまち
- (3) 多彩な風土からの地域資源、観光資源の有効活用による賑わいのあるまち
- (4) 地域ぐるみで助け合い、子ども・お年寄りの笑い声が聞こえる、健康で生きがいのあるまち



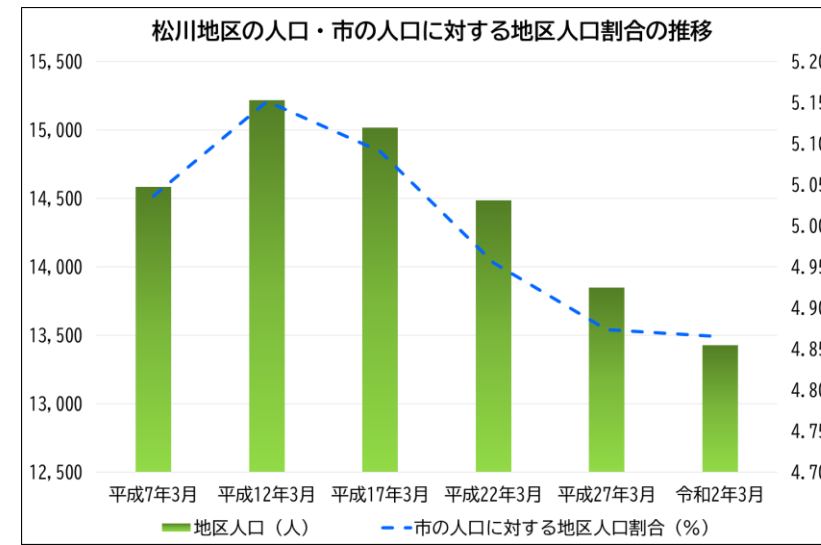
【松川提灯祭り】

地域の個性

- 【位置】本市南部の丘陵地に位置し、西部には笹森山など700m級の山が連なり、麓からは水原川が中央部を、弘川が南部を東西に流れ、東部には阿武隈川が南北に流れています。
- 【自然】水原のクマガイソウや土合館公園のアジサイ、芳水の桜、西郷の夫婦桜、諏訪山の桜、右輪台山しだれ桜、弥惣治沼の桜など花に囲まれ、県指定景勝地「阿武隈峡」、市名木保存樹林に指定されている黒沼神社（沼袋）の杉樹林や水原川沿いに広がる田園風景など四季を通して美しい自然に恵まれています。
- 【施設】福島大学・県立医科大学など高等教育機関も整備され、JR金谷川駅周辺・美郷ガーデンシティなど、自然豊かな生活環境が形成されています。また、福島大学食農学類が増設され、人的交流による活性化が期待されます。
- 【交通】国道4号・東北自動車道及びJR東北本線が南北に縦断し、JR松川駅・金谷川駅や松川PAスマートICが交通の拠点となっています。
- 【歴史】八丁目城址・本陣跡・めがね橋・宇輪台遺跡・杉森神社戴澤碑などの史跡や宿場町として栄えた八丁目宿など歴史資源があります。
- 【産業】米・果樹を中心に農村地帯が広がりを見せる一方、総合重電メーカーや空気清浄機械製造会社、また、明治中期より続いている福島市唯一の造り酒屋があります。
- 【地域の行事】松川提灯祭り・金沢羽山ごもり（国指定重要無形民俗文化財）に代表される伝統行事や水原の新そばまつり、めがね橋のライトアップや燈籠流しなどがあります。



【金沢羽山ごもり】



松川地区の基礎データ（R2.9末現在）

| 項目 | 松川地区 | 市全体 |
|--------|----------------------|-----------------------|
| 面積 | 63.07km ² | 767.72km ² |
| 人口（人） | 13,546 (市全体の4.9%) | 275,966 |
| 15歳未満 | 1,353 10.0% | 31,659 11.5% |
| 15～64歳 | 7,841 57.9% | 161,424 58.5% |
| 65歳以上 | 4,352 32.1% | 82,883 30.0% |
| 世帯数 | 5,654世帯 | 123,906世帯 |

地域の取り組みの実績

- (1) クマガイソウの里まつり、新そばまつり：絶滅危惧種指定のクマガイソウの保護と魅力の発信に取り組み、特産である蕎麦のPRを行っています。
- (2) 松川町あじさい小路：土合館公園を中心に約5,000本のアジサイの手入れと周辺環境の美化に取り組み、花々の魅力発信に取り組んでいます。
- (3) 松川提灯祭り：13台の提灯山車が練り歩く例大祭で地域ぐるみで盛り上げています。
- (4) 地域の孫を見守り隊：児童・生徒の登下校時に通学路や学校周辺で立哨活動を行っています。
- (5) 地域安全点検活動：地域の危険個所の把握に努め、周知を図っています。
- (6) 観光案内板の設置、文化財・史跡ガイドマップ作成：観光・史跡案内板や地域ガイドマップを作成し、観光振興を図っています。

地域の強みとなる資源

- (1) 国道13号福島西道路南伸
大森（県道南福島停車場線）～松川町浅川（国道4号）まで国道13号福島西道路の南伸により、新たな地域価値の創出が期待できます。
- (2) 新しい松陵中学校の建設
松陵中学校の改築に伴い、義務教育学校として教育の充実が期待されます。
- (3) 福島大学との地域連携
福島大学に食農学類が増設され、農業だけでなく幅広く関係機関との連携により、新しい農業と地域活性化が期待できます。
- (4) 史跡・文化財・自然・花の活用
八丁目城址や旧宿場町などの史跡・文化財に加え、田園風景が広がる自然や多くの花を活用した観光振興に期待が持てます。
- (5) 松川地区公共交通地域協議会の設置
令和元年に設立された松川地区公共交通地域協議会において、今後の松川地域における公共交通の在り方や対応策について協議されます。

地域課題

- (1) 人口減少や農業等の後継者不足に対応した過疎化対策と商店街や農村地帯の活性化
- (2) 松川スマート I Cの周辺道路整備と主要地方道土湯温泉線、霊山・松川線、川俣・安達線など幹線道路の整備促進
- (3) 松川工業団地への企業誘致による地元雇用の促進
- (4) 宿場町として栄えた歴史資源や地域伝統文化の保存と活用
- (5) 花をテーマにした地域観光資源を活用しにぎわいの創出
- (6) 地域内における移動手段の確保
- (7) 道路や水路の整備など事故や災害のない、安全・安心なまちづくり
- (8) 未来を担う子供たちの健全育成活動
- (9) 旧まつかわ西幼稚園など廃止された公共施設の有効活用

重点的な取り組み

I 地域コミュニティ

【方針1】地域活性化のため地域住民全員が参加しまちづくりを進めます。

- (新規) 町内会加入促進のための会報作成に努めます。
- (新規) 町内会にてボランティア養成講座を実施します。
- (新規) 環境美化活動とともに資源物分別の徹底を図り、ごみ減量化を推進します。
- (継続) 公園など憩いの場の協働管理に努め、活用を図ります。

【方針2】地域資源や地域課題の情報を共有し地区内の連帯、連携の取り組みを進めます。

- (新規) ボランティア団体等の関係機関が連携できる拠点づくりの協議を始めます。



【八丁目宿：めがね橋】

II 安全・安心

【方針1】住み慣れた地域で子どもからお年寄りまで安心して生活できるよう、地域ぐるみで安全と安心を実感できる社会づくりを推進します。

- (継続) 交通事故多発エリアの通学時の見守り活動と交通安全教育を実践します。
- (継続) 関係機関の連携のもと防犯パトロールを実践します。
- (拡充) 定期的に地区内の危険箇所点検を実施し、実情に即した防災マップの作成に努めます。
- (新規) 地元企業との防災協定を締結し災害時の避難箇所の充実を図ります。
- (継続) 道路・河川・公園の愛護運動を推進します。
- (拡充) 地域公共交通の在り方の協議を進めます。
- (新規) 地域における自主防災組織の活性化を図ります。

III 歴史・文化・教育

- 【方針1】歴史的文化財の保存と伝承に努めるとともに、健康で明るいまちづくりを進めます。
 - (拡充) 新たな観光・史跡案内板の設置に努めます。
 - (拡充) 生涯学習における学習センター活用の推進と地区文化祭への参加を進めます。
 - (新規) 伝統文化の継承やイベントにおける世代間交流を図ります。

IV 子どもの健全育成

- 【方針1】子供の健やかな成長を地域全体で育みます。
 - (継続) 地域の孫見守り隊活動を実践します。
 - (継続) 朝のあいさつ運動を推進します。
 - (新規) 放課後などにおける子供の居場所づくりを地域全体で進めるため検討します。
 - (新規) 松川かるたを活用し、世代間交流に努めます。



【松川かるた】

V 健康増進・福祉・スポーツ

- 【方針1】健康で明るいまちづくりを進めます。
 - (新規) いきいきももりん体操の実践と普及に努めます。
 - (新規) 2025年問題を踏まえ、認知症 SOS ネットワーク模擬訓練の普及活動を推進します。
 - (継続) 体育協会や老人クラブ、スポーツ少年団などのスポーツ活動を推進します。

VI 魅力ある地域産業

- 【方針1】史跡・伝統文化・自然などの活性化資源の活用に加え、変化に対応した活性化を進めます。
 - (拡充) 他産業との連携や史跡・伝統文化・花を活用した地域商店街の活性化を図ります。
 - (新規) 食農学類をはじめとした福島大学との連携を進め、農業体験や地域イベントなどを通して地域の活性化に努めます。
 - (新規) 農業の活性化に向け農業の担い手の確保と地域振興策を検討し、地域活性化に取り組みます。
 - (新規) 国道13号福島西道路南伸を見据えた地域産業活性化の取り組みを検討します。
 - (継続) 史跡・文化・自然などの観光資源を活用した集客活動を推進します。

VII 豊かな自然

- 【方針1】観光資源としての豊かな自然の保持を図ります。
 - (拡充) 桜、アジサイなどの花や阿武隈峡などの自然に囲まれた史跡の観光活用を図ります。
 - (継続) クマガイソウの群生地など自然のままの花資源の保存による観光活用を図ります。



【土合館公園：あじさい小路】